

9月28日：株式市場は強い売り圧力により、数カ月前の安値に

ベトナム株式市場は下げ幅が拡大、2%近く下げ数カ月前の安値まで下落した。投資家はリスク資産に対して引き続き慎重だった。

ホーチミン市場ではVN指数が22.92下落、-1.96%の1,143.62ポイントとなり、2021年2月の安値近辺となった。同指数は1,150ポイントで持ち合った後、下値支持線を抜け長期弱気相場入りとなった。

ホーチミン市場銘柄は下落が続いており、軟調な動きだった。一方で流動性は増加、売買代金は16.5%増加の10兆7,000億ドン（4億5,060万ドル）、出来高は4億9,700万株であった。

VN30指数は21.8ポイント下落-1.84%の1,160.66ポイントで取引を終えた。同指数のうち24銘柄が下落、5銘柄が上昇した。リスクオンにはならず市場に強い売り圧力が生じているため4日連続の下落となった。

ハノイ市場ではHNX指数も4日連続の下落であった。3.17ポイント下落、-1.24%となり252.35ポイントで取引を終えた。ハノイ市場の売買代金は1兆1,000万ドンを超え、出来高は6,150万株であった。

ベトストックによると、ペトロベトナムガスが-6.73%と下落相場に影響したとのこと。他にも、ビンググループ(VIC)、ビンホームズ(VHM)、マサングループ(MSN)、ホアファットグループ(HPG)、モバイルワールド(MWG)、FPT(FPT)、ベトナムラバーグループ(GVR)、ベカメックス(BCM)が2%以上下落した。

一方で、数銘柄は上昇した。主な上昇銘柄はベトコムバンク(VCB)+0.94%、VPバンク(VPB)+1.37%、ビンコムリテール(VRE)+0.75%であった。

外国人投資家は、ホーチミン市場で47億9,000万ドン、ハノイ市場で247億9,000万ドン、計300億ドン近くを売り越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。